



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月9日

上場会社名 株式会社フジコー 上場取引所 東
 コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 直人
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)佐藤 陵枝 (TEL)03(3841)5431
 四半期報告書提出予定日 2019年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	2,937	14.7	283	105.5	235	120.1	164	344.2
2018年6月期第3四半期	2,559	1.6	137	△16.9	106	△16.4	37	△19.0

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 164百万円 (344.2%) 2018年6月期第3四半期 37百万円 (△63.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年6月期第3四半期	36	26	—	—
2018年6月期第3四半期	8	16	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2019年6月期第3四半期	百万円 6,218	百万円 2,230	% 35.9
2018年6月期	6,125	2,120	34.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 2,230百万円 2018年6月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年6月期	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 12.00
2019年6月期	—	6.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	12.3	300	56.6	240	70.3	170	197.8	37.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期3Q	4,541,000株	2018年6月期	4,541,000株
② 期末自己株式数	123株	2018年6月期	123株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4,540,877株	2018年6月期3Q	4,540,877株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における取り組みとして、建設系リサイクル事業においては、引き続き恒常的な受入制限を実施せざるを得ない処理需要に対応し、施設の安定稼働と外注委託先の開拓に努めてまいりました。焼却施設及び発電施設ともに100%稼働の状況が継続しておりますので、稼働率の向上と合わせ外注委託先を開拓することにより、取引先の需要に最大限応えられるように注力してまいりました。食品系リサイクル事業では、液状化飼料の品質の向上に努め、白蟻解体工事においては、新規取引先の受注拡大に努めてまいりました。森林発電事業につきましては、発電燃料となる森林資源の安定的な確保を目指し、地域関係者の方々との協議を進めるとともに、電力小売事業の営業強化に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は建設系リサイクル事業における受入料金の改定及び電力小売事業の増加等により2,937百万円(前年同期比14.7%増)となりました。売上原価は概ね計画通り推移しておりますが、施設の点検修理等が2019年4月以降に延期された工事もあり、維持管理費が計画を下回っております。前年同期比では廃棄物の受入数量を制限しているため、外注委託費用が減少しておりますが、電力仕入費用が大幅に増加しているため2,479百万円(前年同期比9.8%増)となり、売上総利益は458百万円(前年同期比52.1%増)となりました。販売費及び一般管理費は174百万円(前年同期比7.0%増)となり、営業利益は283百万円(前年同期比105.5%増)、経常利益は235百万円(前年同期比120.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は164百万円(前年同期比344.2%増)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

① 建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、焼却施設の需給環境が厳しく、稼働日数は増加しておりますが外注委託の見込数量が減少傾向で推移しております。そのため計画的な受入を継続した結果、受入数量は前年同期と比較して累計で10%の減少、第3四半期は5.3%増加しております。発電施設の受入数量は前年同期と比較して累計で4.9%、第3四半期は11.6%増加しております。売電数量も前年同期と比較して5%前後増加しております。新築及びリフォーム工事現場からの収集運搬事業も回復傾向であり、売上高は前年同期比で44.2%増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,177百万円(前年同期比7.2%増)、売上原価は946百万円(前年同期比6.6%減)となった結果、営業利益は231百万円(前年同期比172.7%増)となりました。

② 食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売数量が計画通り推移しております。新規契約先の開拓は進んでおりませんが、既存販売先の数量は安定的に推移しております。食品循環資源の受入数量は累計で3.7%、第3四半期も12.3%増加しておりますが、飼料化に不向きである栄養分の少ない受け入れ対象物を制限する方向で交渉しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、131百万円(前年同期比5.9%増)、売上原価は施設の修繕費用が発生したため130百万円(前年同期比21.4%増)となった結果、営業利益は0百万円(前年同期比95.8%減)となりました。

③ 白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては営業活動の結果、紹介物件も増加するとともに、施工体制の充実により売上高は前年同期比で17.5%増加しております。また、白蟻工事は昨年末以降、既存工事が減少傾向ではありますが、売上高は前年同期比で15.3%増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は175百万円(前年同期比17.0%増)、売上原価は164百万円(前年同期比19.3%増)となった結果、営業利益は10百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

④ 森林発電事業

森林発電事業は、発電燃料の使用数量低減に向けて注力してまいりました。木材の乾燥を促進する貯木方法を検討するとともに効率的な破砕、混合を促進することにより、100%の安定稼働を継続しながら、払出し原価の低減を目指しております。また仕入数量の増加を目的として、地域関係者の方々との協議を進めてまいりました。電力小売につきましては一般家庭の受注は、地元企業との代理店契約の締結により、増加傾向で推移しておりますが、工場等の高圧の受注は厳しい状況が継続しております。発電事業は売上高、売上原価ともに前年同期比と概ね同額であります。電力小売事業の売上高は前年同期比で概ね2倍となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,452百万円（前年同期比22.3%増）、電力小売事業の拡大による電力仕入費用が増加したため売上原価は1,237百万円（前年同期比23.8%増）、営業拡大による販売管理費用が増加しておりますが営業利益は165百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて93百万円増加し、6,218百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、現金及び預金、たな卸資産が増加したため、前連結会計年度末に比べて410百万円増加し、2,115百万円となりました。固定資産については、減価償却等により前連結会計年度末に比べて317百万円減少し、4,103百万円となりました。

流動負債については短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて68百万円増加し、1,357百万円となりました。固定負債については借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べて85百万円減少し、2,630百万円となりました。

純資産については、配当及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べて110百万円増加し、2,230百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は、概ね計画通り推移しております。建設系リサイクル事業において焼却施設の受入制限等は継続しておりますが、森林発電事業の電力小売事業が堅調に推移しております。売上原価につきましては、定期点検による維持管理費等の計上を第4四半期に計画しておりますので、外注委託費用の低減を進めるとともに、森林発電事業においては使用木材の乾燥促進に注力してまいります。既存事業の収益改善を見込むとともに、森林発電事業の安定稼働、電力小売事業の拡大に努めてまいります。

現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	2,937	2,559	377	2,870	67
売上原価	2,479	2,258	220	2,454	25
売上総利益	458	301	156	416	42
販売管理費	174	163	11	176	△1
営業利益	283	137	145	240	43

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,067	1,193,159
売掛金	476,746	502,206
たな卸資産	270,867	302,178
その他	119,705	117,565
貸倒引当金	△700	-
流動資産合計	1,704,685	2,115,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,811,154	2,807,613
減価償却累計額	△991,283	△1,056,331
建物及び構築物(純額)	1,819,871	1,751,281
機械装置及び運搬具	4,512,343	4,418,085
減価償却累計額	△2,529,982	△2,664,016
機械装置及び運搬具(純額)	1,982,361	1,754,068
土地	271,166	271,166
その他	63,102	114,874
減価償却累計額	△36,810	△40,652
その他(純額)	26,292	74,222
有形固定資産合計	4,099,691	3,850,739
無形固定資産	18,094	17,187
投資その他の資産		
投資その他の資産	302,675	235,151
投資その他の資産合計	302,675	235,151
固定資産合計	4,420,460	4,103,077
資産合計	6,125,146	6,218,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,675	265,296
短期借入金	200,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	592,961	555,853
未払法人税等	34,623	37,691
賞与引当金	-	34,222
その他	200,459	134,662
流動負債合計	1,289,720	1,357,726
固定負債		
長期借入金	2,492,675	2,430,684
資産除去債務	109,930	110,160
その他	112,695	89,328
固定負債合計	2,715,301	2,630,174
負債合計	4,005,021	3,987,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,873	629,873
資本剰余金	694,539	694,539
利益剰余金	795,771	905,934
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,120,124	2,230,287
純資産合計	2,120,124	2,230,287
負債純資産合計	6,125,146	6,218,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	2,559,967	2,937,529
売上原価	2,258,844	2,479,417
売上総利益	301,122	458,112
販売費及び一般管理費	163,216	174,704
営業利益	137,905	283,407
営業外収益		
受取利息	32	15
保険解約返戻金	-	9,525
その他	2,784	2,459
営業外収益合計	2,816	12,000
営業外費用		
支払利息	25,193	24,174
支払手数料	8,416	32,773
その他	135	3,022
営業外費用合計	33,746	59,970
経常利益	106,975	235,438
特別利益		
固定資産売却益	3,724	9,444
特別利益合計	3,724	9,444
特別損失		
固定資産除却損	51,454	10,192
特別損失合計	51,454	10,192
税金等調整前四半期純利益	59,245	234,690
法人税、住民税及び事業税	33,058	47,257
法人税等調整額	△10,881	22,779
法人税等合計	22,176	70,037
四半期純利益	37,068	164,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,068	164,653

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	37,068	164,653
四半期包括利益	37,068	164,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,068	164,653
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,098,434	124,329	150,308	1,186,894	2,559,967	-	2,559,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,098,434	124,329	150,308	1,186,894	2,559,967	-	2,559,967
セグメント利益	84,919	16,398	12,155	147,386	260,859	△122,953	137,905

(注) 1. セグメント利益の調整額 △122,953千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,177,930	131,680	175,798	1,452,119	2,937,529	-	2,937,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,177,930	131,680	175,798	1,452,119	2,937,529	-	2,937,529
セグメント利益	231,573	690	10,971	165,816	409,052	△125,644	283,407

(注) 1. セグメント利益の調整額△125,644千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2019年5月9日開催の取締役会において、会社法第459条第1項および当社定款の規定に基づき自己株式取得に係る事項を次のとおり決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得しうる株式の総数	220,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合4.84%)
(3) 株式の取得価額の総額	100,000千円(上限)
(4) 取得期間	2019年5月10日から2019年7月31日まで
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付